

陣友音信 (三)

— 本誌發送の日に —

倉 橋 惣 三

○この苛烈な激戦の最中に、なほこうして本誌を編輯し、全國の陣友に發送することの出来るのは、なんといふ有り難いことである。寧ろ驚くべきこと、言つていゝ位です。頁数は少なくなりました。紙質も粗くなりました。活字も小さくなりました。字詰も窮屈になりました。が、そんなことが言つておられませうか。此頃の紙はみんな樺太から船で送られて来るのですが、その紙を作る勞働力、機械力、それにも増して、海上の輸送力の戦下の貴さを考へると、わたくし共は一頁と雖も、あだおろそかには思へないのであります。或る時間いたことです。この船舶の大切な時、紙の輸送なんかには、一船の餘裕もないといふことで、印刷紙配給の全部が停頓されそうにまでなつたことがあるそうです。關係當事者諸氏の非常の盡力によつて、全部停頓は免れたが、船の数の甚だしい制約は免れません。戦争への直接の必須に忙しい船としては、その一船を他の用に向けるのも、容易ならぬ大きな問題なのです。端的簡明にいへば、戦力の一部を割いて輸送せられた紙といふことになるのです。これは、海を渡つて送り來られる物資に

對しては皆同じことで、砂糖の如きその代表的な一つですが、紙においても亦變りないのであります。こゝらの切迫した實情を知つては、雜誌が整理統合せられて、その種類が極めて少數になり、その各誌への紙の配給が一期毎に削減せられてゐるのも、不服なぞいへたものでないのであります。

○すなはち、今日の雜誌は一冊と雖も、「自分の紙」で出来てゐるものはありません。いづれも「國の紙」を興へられて印刷してゐるのであります。しかもその「國の紙」が、どんなに行詰つてゐるもの、従つて、どんなに貴重なものでありませう。わたくし共は、それをよく考へて編輯してゐます。力が足りなくて、この心に副はない點が多いとは思ひますが、一頁でも無用の文字で埋めては、相濟まんことゝ心がけてゐます。讀者の方々に濟まんといふ前に、「國の紙」のためには、

○無用の文字とは、どういふことでせう。その雜誌の使命に反するもの、或は、使命に對して稀薄なるものであります。編輯者として最も自ら戒心してゐる點が、こゝにあるのは申すまでもあり

ません。しかし、一言いはせていたゞきたいことは、雑誌の文字を真に無用のものではないようにして下さる爲には、讀者の方にも受持つていたゞかなければならぬ分擔があることです。その分擔とは、いふまでもなく、よく讀んでいただくことです。そんなにも、よく讀んで下さつたか、よく活用して下さつたかと思ひ得る時ほど、編輯者としての喜びはありません。喜びといふよりは編輯者から讀者への感謝であります。

○本誌の發行部數など、ものゝ數でもありませんが、それでも、發送の日は一通り多端を極めます。多端といふのもいひ盡さない言葉ですが、たゞの多忙と違ふのです。多くの雑誌は、考へられ部數の發送になければなるほど、一冊々々の行くへなぞが、考へられてゐるものであります。たゞ量として、重量として送り出されるのです。それに對し、本誌の如きは、悉く陣友に配送せられ、その一部々々の送り届け先きは、一人として陣友でない方はないのであります。多端とは、その一つ／＼に心を籠める發送の感情に他なりません。

○それにしても、待つてゐて下さる陣友に、發行の日の遅れ勝ちであり、殊に不規則であることは、何とも申譯ありません。これは編輯者の責任としなければなりません、戦下のいろ／＼の事情があることもお許し願ひます。わたくし共としては、この劇忙の時に、植字し、印刷し、製本して、編輯者と讀者とを月々に間違なく結びつけて呉れる、勞務員諸君に對して感謝するの、發送日の心もちであります。これ皆「國の力」ですから。

○無用の反對は用でありますが、用すなはち實用といふことはかりが、陣友間の音信としての本誌の使命ではありますまい。みんな烈げしい緊張と勞役とを以て働いてゐられる陣友諸君に對して、まごころの慰問も、陸ながらの激勵も、本誌の用の一つであります。正直をいへば、わたくし共は、單なる有益よりはこの方の心に溢れてゐるのです。又、わたくし共の微力を以て、ざれ

だけ有益なり得るかよりも、親しきたよとして發送し得ることを自信してゐる位であります。大げさな言葉をゆるさるれば、陣友愛ともいひませうか。これ皆「國の友」ですから。

○それにしても、本誌が、南洋の諸島の幼稚園への發送を中止しなければならなかつたことは、幾く月の前のことでしたらうか。わたくし共は悲痛そのものを以て、發送を中止した。その月の發送日を忘れません。そして、その後のことは、あゝ、なんといふ言葉で、それらの陣友を思ひませうか。願はくは、健在にして再び本誌に、否、本誌が、お目にかゝれることを念ずるのみであります。

○前號を、琉球に送ることは、先月の發送日の一つの悲壯でありました。無事に受けとられるかを知らないのですが、是非、確に届くやうにと、胸に溢き籠もる萬感を以て祈つてゐます。と同時に、こうした中で、必ず受け取つて下さる各地の陣友諸君は、その安泰と健在とを以て、自分の分だけでない御奉公を勵んで下さることを、心から乞はざるを得ないのであります。

○前號の發送の日は、宛も、比島海戦の大戦果の報道の日でありました。わたくし共は、前線勇士の殉忠の奮闘に感佩すると共に、銃後増産の白熱の努力に感謝すると共に、そうした中にあつて、小さい本誌も亦、その使命を以て決勝に參らせていたゞきたいといふことを、謙虚に、しかも強固に、希はずにゐられなかつたのであります。

○今や、一切之れ戦争一本、決勝専念、他を顧るに暇ありません。他をどこでなく、そのことを、そのこととして願ひてゐることも許されません。文化のための文化なく、教育のための教育なく、保育のための保育なく、皆、すべて、舉げて以て必勝のためであります。小さい本誌も亦、必勝のために編輯せられ、發送せられ、そして必勝のために受け取られ、よく讀まれ、よく活用せられること以外、今日の使命も存在もないのであります。